

道営農業農村整備事業の促進を求める

特別決議

本道農業の生産力・競争力の強化に向けて、農業者が必要な生産基盤の整備に積極的に取り組めるよう、北海道と市町村が連携して農家負担を軽減する「次世代農業促進生産基盤整備特別対策事業（第六期パワーアップ事業）」の実施期間は令和七年度までとなっている。

パワーアップ事業は、飛躍的な生産性の向上が期待できるスマート農業の推進に必要な農地の大区画化や排水改良、農村地域の防災・減災対策に向けた農業水利施設の整備・保全に大きく寄与し、北海道農業を支える重要な事業として、道内各地域から高く評価されている。

このような中、国は、食料安全保障の強化等に向けて、昨年六月に「食料・農業・農村基本法」を改正し、それに基づき、新たに策定される「食料・農業・農村基本計画」では、北海道を我が国の主要穀物などの主産地に位置付けるなど、北海道農業・農村に対する期待は一層高まっている。

よって、地域から多くの要望が上がっている道営農業農村整備事業が引き続き計画的に推進できるよう、次期パワーアップ事業が措置されることを総意として決議し、北海道に要望する。

令和七年三月二十五日

北海道土地改良事業団体連合会 令和六年度通常総会